日本農芸化学会
2003年度(平成15年度)大会
講演要旨集
JSBA

会　期: 2003年（平成15年）3月31日（月)~4月3日（木）4日間
会　場:
〈〉3月31日（月）[第1日（3月31日)]
通常総会，授賞式，受賞者講演，産学官学術交流委員会フォーラム等:
パシフィコ横浜国際会議場会議センター1階メインホール
（横浜市西区みなとみらい1-1-1）
懇親会: パンパシフィックホテル横浜地下2階クイーンズグランドボールルーム
（横浜市西区みなとみらい2-3-7）
〈〉4月1日（火)~4月3日（木）[第2日（4月1日)，第3日（4月2日)，第4日（4月3日)]
一般講演，シンポジウム，新製品・新技術セミナー，展示会等: 日本大学湘南キャンパス

2A13p12　ステビア粉末由来の高温菌に関する研究

○岡本 啓湖、三毛 竜馬（福岡農高・専攻・食品工)

[目的]ステビア粉末（(株）ジェー・ビー・ビー）を用いた堆肥化の過程で堆肥温度が80℃まで上昇することから、ステビア粉末に高温菌の存在が示唆される。本研究ではステビア粉末より高温菌の分離同定を行い、さらに本菌の特性について検討した。[方法・結果]0.5%肉エキス加トリプトソイ寒天培地を用いた55℃の培養により5株の菌が得られた。その1株についての知見が得られたのでここに報告する。グラム染色性、またカタラーゼ活性、運動性、オキシダーゼ、胞子の有無について検討した結果、有胞子のグラム陰性菌でかつカタラーゼ、オキシダーゼを有し、運動性をもつことが判明した。また増殖温度は35℃以上で可能となり、45℃以上で粘性物質の生成が見られた。この高温菌の同定法に16S rDNAを用いた遺伝子解析を行った結果、2001年に新種新属となったVeribacillus thermosphaericusの598塩基と全てが一致し99%の相同性が得られた。さらに本高温菌の基質分解能を調べる為に肉片分解試験、タンパク分解試験、リピッド分解試験、デンプン分解試験に供した。